

2018年度 向こころ保育園の自己評価について

向こころ保育園 園長 荒井良子

保育園の自己評価とは

「保育所保育指針」(厚生労働省告示)では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と規定されています。

そのため、向こころ保育園では、職員を対象として自己評価を実施し、評価の結果を踏まえて、今後の保育内容の充実につなげていきたいと考えています。

評価の方法

【自己評価の内容】にある各項目について、保育士等が次の基準により評価欄に記入する。

3・・・十分達成できている 2・・・ほぼできている 1・・・改善を要する

評価の結果

◎「5 開かれた保育園」の評価が相対的に低く、中でも、地域の親子等に対する働きかけが少ない結果となりました。このため、地域の多くの親子との交流を深め、地域の中で子どもが健やかに育つよう積極的な取り組みを実践し、地域社会の理解を得られるように努めていきます。

◎1から4までの自己評価については、おおむね基準を達成していますが、個々の保育者が課題を認識し、専門性を高めながら、より質の高い保育をめざしてまいります。

【自己評価の内容】

1 保育の理念・保育観

No.	評価項目	2018年度 評価(平均)	2018年度 総合評価
1	児童福祉法の理念に基づいて、子どもの生活と健全な発達を保障することが、保育園の重要な使命であると理解しています。	2.9	2.5
2	子どもが自分の思いや意見を、はっきりいうことができるよう配慮し、それを尊重している。	2.3	
3	職員一人一人が自己評価を行い、その問題解決のために向上心をもって取り組んでいます。	2.3	
4	保育園には、入園している子どもの保育だけでなく地域の子育て支援をする、社会的役割があることを意識しています。	2.3	
5	子ども一人一人の発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育をしています。	2.6	
6	保育園の保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識しています。	2.7	

2 保育計画・指導計画

No.	評価項目	2018年度 評価(平均)	2018年度 総合評価
1	保育指針のねらい及び内容が、達成できるような全体的な計画や保育計画になっています。	2.4	2.5
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成しています。	2.4	
3	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成を意識して保育をしています。	2.3	
4	職員間で、「子ども理解」を深め、お互いの考えを十分理解した上で、保育をしています。	2.6	
5	子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持を受け止め、状況に応じて適切な対応をしています。	2.3	
6	食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしています。	2.6	
7	献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%を手作りしています。	2.9	

3 保育園の職員構成・役割分担・研修

No.	評価項目	2018年度 評価(平均)	2018年度 総合評価
1	職員の職務や役割分担がはっきりとしていて、それぞれの仕事を責任持って行っています。	2.9	2.5
2	豊かな集団の育成をめざしたクラス運営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われています。	2.3	
3	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられています。	2.4	
4	園内外の研修には、目的をもって積極的に参加しています。	2.3	
5	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽しています。	2.4	

4 運営・管理

No.	評価項目	2018年度 評価(平均)	2018年度 総合評価
1	子どもの個人記録などの個人情報保護の管理を適切に行っています。	2.7	2.6
2	保育業務の中で知り得た事柄に対しての守秘義務を全職員に周知し守られている。	2.5	
3	帳簿類は、適切に記載し、整理保管しています。	2.7	
4	定期的(毎日)に施設設備・遊具等の安全点検をしています。	2.6	
5	職員それぞれが保育園全体のあり方を理解し、協力や助言を惜しむことなく保育園の運営に関わっている。	2.6	

5 開かれた保育園

No.	評価項目	2018年度 評価(平均)	2018年度 総合評価
1	小学校(学童)と連携し交流する機会を持っています。	2.6	2.1
2	地域に住む親子に対し、一緒に遊ぶことができる場の設定や情報の発信をしています。	1.6	
3	地域にある他の保育園、高齢者施設、障害児施設と保育園児との交流の機会を大切にしています。	2.6	
4	子どもの心身の発達や育児不安等について、気軽に相談や専門機関との連携をとりながら行っています。	2.0	
5	園生活の子ども様子を保護者や地域社会に積極的に伝えていきます。	1.9	